

第1章

東京2020大会の開催



1 東京2020大会開催概要

1 開催概要

●オリンピック

正式名称：第32回オリンピック競技大会（2020 / 東京）

英文名称：Games of the XXXII Olympiad

開催期間：令和3（2021）年7月23日（祝）～8月8日（祝）（17日間）

競技数：33競技339種目

競技会場：42会場

●パラリンピック

正式名称：東京2020パラリンピック競技大会

英文名称：Tokyo 2020 Paralympic Games

開催期間：令和3（2021）年8月24日（火）～9月5日（日）（13日間）

競技数：22競技539種目

競技会場：21会場

2 日程

●オリンピック

令和3（2021）年3月25日（木） 聖火リレースタート

7月13日（火） 選手村開村

7月21日（水） 競技開始

7月23日（祝） 開会式

8月 8日（祝） 競技終了

閉会式

8月11日（水） 選手村閉村

●パラリンピック

令和3（2021）年8月12日（木） 聖火リレー（聖火フェスティバル）スタート

8月17日（火） 選手村開村

8月24日（火） 開会式

8月25日（水） 競技開始

9月 5日（日） 競技終了

閉会式

9月 8日（水） 選手村閉村

3 選手の参加状況

●オリンピック

団体数：206団体 [205NOC + 難民選手団]

選手数：11,417人

●パラリンピック

団体数：163団体 [162NPC + 難民選手団]

選手数：4,403人

4 大会の延期・簡素化等

ア 延期の経緯

令和2(2020)年3月24日(火) 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、安倍内閣総理大臣とバッチIOC会長が、森組織委員会会長、小池東京都知事など同席のもと電話会談を行い、1年程度延期することで合意

IOC臨時理事会で承認

3月30日(月) 森組織委員会会長とバッチIOC会長が、小池東京都知事と橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣など同席のもと電話会談を行い、新たな大会開催日程に合意

IOC臨時理事会で承認

【開催日程】《 》は延期前の日程

オリンピック：令和3(2021)年7月23日(祝)～8月8日(祝)(17日間)

《令和2(2020)年7月24日(祝)～8月9日(日)(17日間)》

パラリンピック：令和3(2021)年8月24日(火)～9月5日(日)(13日間)

《令和2(2020)年8月25日(火)～9月6日(日)(13日間)》

イ 簡素化の経緯

令和2(2020)年6月10日(水) 東京2020組織委員会は、IOC理事会で大会における原則として「延期に伴う費用と負担を最小化し、効率化・合理化を進め、簡素(シンプル)な大会とする」ことを提示
削減方針は以下の4点

①大会関係者に対し大会への参加者の削減を要請

②特に予算影響の大きい分野など、効率化・コスト削減を検討

③会場、関係者ごとのサービスレベルの見直し

④大会関連イベントの再検討

9月25日(金) 東京2020組織委員会とIOCは、IOC調整委員会において、東京2020大会の簡素化に向けて、選手村の運営期間短縮や入村式の取り止め、大会関係者数の削減など52項目の見直しに合意

ウ 暑さ対策による運営変更

令和元(2019)年11月1日(金) IOC、東京2020組織委員会、東京都、国による四者協議を経てオリンピックマラソンと競歩競技の会場を札幌市に変更

大会期間中 一部競技において時間変更などにより日中の厳しい暑さを回避

5 新型コロナウイルス感染症対策

ア 検討の経緯

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催における新型コロナウイルス感染症対策について総合的に検討、調整するため、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議の下に、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」（以下「調整会議」という。）が令和2（2020）年9月に設置された。調整会議には、国、東京都、東京2020組織委員会、JOC、JPC、感染症専門家が参加し、対策が検討された。

令和2（2020）年12月2日（水） 調整会議（第6回）が開催され、過去5回の検討を踏まえた中間整理を取りまとめ

アスリート、大会関係者、観客の3つのカテゴリーについて、場面（入国、輸送、会場など）ごとに、新型コロナウイルス感染症への対策を整理

令和3（2021）年4月28日（水） 調整会議（第7回）において、検査体制の強化や陽性者への対応、行動管理の厳格化や違反時の措置等、変異株に対応した追加的な対策を取りまとめ

そのほか、東京2020大会の新型コロナウイルス感染症対策のため、東京2020組織委員会や国、東京都など関係機関において以下の会議でも検討がなされた。

●東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策のための専門家ラウンドテーブル（調整会議の指針やプレイブックなどに基づき、東京2020組織委員会が講じる具体的な新型コロナウイルス感染症対策について、感染症・公衆衛生などの専門家から助言を得る会議）

●五者協議

（IOC会長、IPC会長、東京2020組織委員会会長、東京都知事、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣が出席する会議）

イ 厳格な行動管理の実施

●関係者ごとにプレイブックを作成し、違反者には厳格に対応

※プレイブックとは、東京2020組織委員会、IOC、IPCが専門家の意見を踏まえ、東京2020大会において参加者が遵守すべき新型コロナウイルス感染症対策上のルールを取りまとめたもの。対象は以下のとおり。

- ① アスリート・チーム役員
- ② IF（国際競技連盟）
- ③ マーケティングパートナー
- ④ ブロードキャスト
- ⑤ プレス
- ⑥ オリンピック・パラリンピックファミリー
- ⑦ 大会スタッフ



▲プレイブック

●処分状況

	大会参加資格剥奪	大会参加資格一時停止	嚴重注意	計
オリンピック	15人	9人	32人	56人
パラリンピック	3人	1人	29人	33人
計	18人	10人	61人	89人

ウ ワクチン、検査や迅速な陽性者対応による徹底した感染防止

- 感染症対策の司令塔となるIDCC（感染症対策センター）、選手村の大会関係者などに対する保健所機能を担う保健衛生支援東京拠点、選手村内の発熱外来、専用療養施設の設置
- 濃厚接触者が試合参加する場合の徹底した対応（6時間前の検査、動線分離など）
- 国内関係者に対するワクチン接種（令和3（2021）年6月18日（金）から8月21日（土）まで、IOC提供のファイザー製を約4万人に接種）
- 検査総数100万回超（選手は毎日、関係者は接触の程度に応じ4日に1回又は7日に1回等）
- 累計陽性者数（ホストタウン関連を除く）
 オリンピック：7月1日（木）～8月11日（水） 国外174人／国内373人
 パラリンピック：8月12日（木）～9月8日（水） 国外80人／国内243人

エ 無観客での開催及び海外からの来日者の削減

●無観客開催の経緯

- 令和3（2021）年3月20日（祝） IOC、IPC、東京2020組織委員会、東京都、国の五者協議により、オリンピック・パラリンピックについて、海外観客の日本への受入れを断念
- 7月8日（木） IOC、IPC、東京2020組織委員会、東京都、国の五者協議により、オリンピックについて、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県の会場を無観客にすることを決定
- 8月16日（月） IPC、東京2020組織委員会、東京都、国の四者協議により、パラリンピックについて、すべての会場を無観客にすることを決定（学校連携観戦を除く）

なお、マラソンや自転車、トライアスロンなどの路上競技については、沿道観戦の自粛を呼びかけた。

●来日者の削減

- 関係者（アスリートを除く）の来日は当初予定の1/3以下まで削減
- オリンピック：約141,000人 ⇒ 33,000人
 パラリンピック：約36,000人 ⇒ 10,000人

オ 聖火リレー実施方法の変更

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象となり、公道での聖火リレーが実施できない地域では、聖火ランナーが会場内で聖火をつなぐ「点火セレモニー」などの代替措置を関係者のみで実施

2 東京2020オリンピック開催期間の中央区

令和3(2021)年7月23日(祝)、開会式がオリンピックスタジアムで行われ、史上初の大会の1年延期を経て、東京2020オリンピックが開幕した。

開幕に先立ち、7月13日(火)に晴海地区で選手村が開村し、大会期間中の選手たちの生活拠点として各国選手団などを迎え入れた。

大会は新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令される中での開催となったが、本区は選手村のある地元区として、大会に出場する選手・大会関係者などを歓迎するため、直接的な交流は難しくなったものの、非接触型のさまざまなおもてなしの取組を展開するとともに、区施設を公式練習会場や参加国の拠点施設に提供するなど、大会成功のための支援を行った。

また、オリンピック聖火リレーの公道走行は中止となったが、浜町公園で点火セレモニーが実施されたほか、各地域でも幹線道路沿いや商店街に大会フラッグなどの装飾がされるなど、区内全域で大会開幕への気運醸成に努めた。

1 東京2020オリンピック聖火リレー

ア 概要

オリンピック聖火リレーは、古代オリンピック発祥の地ギリシャ・オリンピアの太陽光で採取された火をギリシャ及び開催国内のリレーによって開会式までつなげるものである。オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役割を持っている。

東京2020オリンピック聖火リレーは令和2(2020)年3月12日(木)にギリシャのヘラ神殿跡で聖火採火式が実施されたものの、翌日、新型コロナウイルス感染症の影響により、ギリシャでの聖火リレーが中止となった。その後、3月19日(木)にギリシャのパナシナイコスタジアムで聖火引継式が実施され、聖火は特別輸送機「TOKYO 2020号」で日本の宮城県へ運ばれたが、3月24日(火)には、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により東京2020大会の延期が決定され、聖火リレーもあわせて延期となった。

そして、約1年後、東京2020オリンピック聖火リレーは、「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」をコンセプトとして令和3(2021)年3月25日(木)に福島県から再び始まり各道府県を巡り、開催都市である東京都に7月9日(金)に到着し、7月23日(祝)まで実施された。日本全国では夏季オリンピックとして最長となる121日間(移動日7日間含む)開催され、最終日には最終聖火ランナー(大坂なおみ選手/テニス)がオリンピックスタジアムにある聖火台へ聖火を灯し、聖火リレーが終了した。その後、オリンピック期間中は江東区の夢の大橋(有明側)で聖火が展示された。

当初、本区内の聖火リレーは中央通り銀座八丁目交差点を出発し、銀座や日本橋を通り、浜町公園に到着し、聖火到着を祝うセレブレーションが実施される予定だった。しかし、令和3(2021)年7月6日(火)に東京都から聖火リレーの実施形態変更が公表され、公道走行・セレブレーションが中止となったため、令和3(2021)年7月20日(火)に浜町公園において無観客で当日聖火リレーを予定していた4区(台東・文京・千代田・中央)が順番に点火セレモニーを実施した。

【東京2020オリンピック聖火リレーの経過】

令和2(2020)年		
ギリシャ	3月12日(木)	聖火採火式
	3月13日(金)	ギリシャでの聖火リレー中止決定
	3月19日(木)	聖火引継ぎ式 TOKYO 2020号で聖火を宮城県へ輸送
宮城県	3月20日(祝)	聖火到着式、復興の火展示※ ※被災地復興を願う聖火の展示
	3月21日(土)	復興の火展示
岩手県	3月22日(日)、23日(月)	復興の火展示
—	3月24日(火)	東京2020大会延期、聖火リレー延期
福島県	3月24日(火)、25日(水)	復興の火展示
福島県	4月1日(水)～7日(火)	聖火展示
東京都	9月1日(火)～11月1日(日)	聖火展示
14道府県	11月7日(土)～12月22日(火)	聖火展示(石川県、三重県、愛媛県、大分県、 広島県)
令和3(2021)年		
14道府県	1月9日(土)～3月16日(火)	聖火展示(北海道、大阪府、奈良県、岐阜県、 福岡県、新潟県、高知県、山口県、岩手県)
福島県	3月25日(木)	聖火リレーグランドスタート
各道府県	3月26日(金)～7月8日(木)	46道府県における聖火リレー ※道府県により公道走行等の一部又は全部中止
東京都	7月6日(火)	島しょ部を除く都内での公道走行・セレ ブレーション等が中止となり、点火セレ モニーの実施が決定
	7月9日(金)～23日(祝)	点火セレモニー等実施
	7月24日(土)～8月8日(祝)	オリンピック期間中、江東区の夢の大橋 (有明側)にて聖火展示

イ 東京2020オリンピック聖火リレー点火セレモニー(中央区)

- 日 時：令和3(2021)年7月20日(火) 午後4時50分～5時55分
 会 場：浜町公園(浜町運動場)
 主 催：東京2020組織委員会
 共 催：東京都聖火リレー実行委員会
 内 容：聖火ランナーによるトーチキス
 最終聖火ランナーによる聖火皿への点火
 フォトセッション
 参 加 者：聖火ランナー関係者のみ

聖火ランナー 23人
 観覧者（聖火ランナー家族など）84人
 サポートランナー（セレブレーション会場で聖火ランナーと共に走行を予定していた区立小学校卒業生）17人
 その他招待者23人
 合計147人

そ の 他：同一の会場で行われた他区の状況

自治体名	時 間	参加者
台東区	午後0時55分～ 1時30分	聖火ランナー 25人 観覧者（聖火ランナー家族など）105人 その他招待者48人 合計178人
文京区	午後1時40分～ 2時22分	聖火ランナー 28人 観覧者（聖火ランナー家族など）59人 その他招待者25人 合計112人
千代田区	午後3時35分～ 4時40分	聖火ランナー 54人 観覧者（聖火ランナー家族など）145人 その他招待者27人 合計226人

セレモニー映像の配信

- NHK東京2020オリンピック聖火リレーライブストリーミングサイト
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会東京都ポータルサイト（セレブレーションのステージに出演予定であった有馬小学校ダブルダッチクラブ、日本橋中学校吹奏楽部の動画も配信）



▲区長によるトーチへの点火



▲トーチキス



▲最終聖火ランナー（泉ピン子氏）による聖火皿への点火



▲フォトセッション



▲有馬小学校ダブルタッチクラブ



Message

希望の灯を繋げて ～聖火ランナーを終えて～

庭崎 敬 様 (銀座中学校在籍 14歳)

私が聖火ランナーをやりたいと思った理由は、聖火が色々な人によって運ばれることを知ったからです。聖火は、47都道府県の性別も、国籍も、障がいも関係ない日本にいる人達が運んでいく聖火だということを知ったからです。私もこの聖火を中央区代表の一員としてつなげたいと思い、聖火ランナーに立候補しました。

そして、当日聖火ランナーをやりとげて、まずは無事この日を迎えられたこと、貴重な体験ができたことに感動し、感謝しました。

私は、本来なら在籍する銀座中学の近くの銀座を走る予定でした。しかし、コロナ禍で公道を走ることはできませんでした。でも、聖火を間近に見ることができオリンピックに参加できるという貴重な体験ができて本当に良かったです。

東京2020オリンピックの現地観戦は出来ませんでしたが、今回は私と同世代の人達も活躍していてとても元気をもらいました。



Message

聖火が繋ぐ想い

文字 真性 様 (日本橋中学校卒業 15歳)

私は中学二年生の時に学校の先生から聖火ランナーについての話を聞き、両親の勧めもあり聖火ランナーを志望しました。聖火ランナーとして選出されたらと連絡をいただいた際には第一にとっても驚きましたがすぐに両親に報告し、一緒に喜びました。そして、オリンピック・パラリンピックという大きな舞台で聖火ランナーという大事な役割を務めさせていただくことを誇りに思いました。

ですが、新型コロナウイルスが流行し、オリンピック・パラリンピックが延期になり当日までとても不安でした。そんな中、開催が決まり着々と準備が進んでいきました。

いざ当日になると、本当にたくさんの方が聖火リレーのために動いている姿を見て、自分が沢山の人の支えられていることを実感しました。また本来なら関わることのない方も関わることができ、とても貴重な経験となりました。

聖火ランナーを勧めてくれた先生、家族、そして関わってくださったすべての方々へありがとうと伝えたいです。



ウ 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの展示

都庁及び都内全62区市町村において、東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチの巡回展示が行われた。本区においても展示を実施した。

日 時：令和3(2021)年7月7日(水)
午前8時30分～午後5時
会 場：中央区役所本庁舎1階ロビー
主 催：東京都
展 示 物：オリンピック聖火リレートーチ、
パラリンピック聖火リレートーチ各1本



▲聖火リレートーチ展示

【当初予定されていた東京2020オリンピック聖火リレー案】

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、本区における公道走行(聖火リレールート)、セレブレーションなどの予定は、次のとおりである。

日 時：令和3(2021)年7月20日(火) 午後6時32分～7時40分

ル ー ト：銀座八丁目交差点～浜町公園

主 催：東京2020組織委員会

共 催：東京都聖火リレー実行委員会

内 容：聖火リレー

セレブレーション(聖火皿への点火、ステージプログラム、区商店街連合会によるブース出店等)

- そ の 他：
- 区独自のイベントとして聖火リレー及びセレブレーションの様子をライブ配信
 - セレブレーション会場でサポートランナーが最終聖火ランナー後方を走行



▲東京2020オリンピック聖火リレー中央区内ルート

【中央区聖火リレーサポーター】

本区において聖火リレーが行われることに伴い、沿道周辺の整理などを担う中央区聖火リレーサポーター(ボランティア)の協力依頼・募集を行った。最終的には公道走行中止により活動できなかったものの、オリンピックで約1,300人、パラリンピックで約700人が参加を予定していた。

【参加状況】

区分	オリンピック	パラリンピック
町会・自治会等	51団体770人	31団体445人
一般公募	502人	257人
合計	1,272人	702人

2 東京 2020 オリンピック開幕

ア 大会を盛り上げるまちの装飾

① フラッグやバナーによる装飾

選手村に続く晴海通りや本区の目抜き通りである中央通りをはじめとする幹線道路、商店街、駅などに大会のフラッグやバナーが掲出され、大会への期待感を盛り上げた。



▲勝鬨橋近くの街路灯フラッグ

② 交通機関のマスコットラッピング

都営バスや地下鉄では、大会マスコットのミライトワとソメイティがラッピングされた車両が使用された。



▲中央通りの街路灯フラッグ



▲築地デポ仮囲のマスコットラッピング



▲マスコットがラッピングされた地下鉄車両

イ 橋梁などのライトアップ

医療従事者への感謝、アスリートへの応援、都市景観の世界への発信を目的として、橋梁、競技施設などのライトアップが令和3(2021)年7月23日(祝)から8月8日(祝)まで実施された。

区内では、隅田川橋梁の清洲橋、永代橋、佃大橋、勝鬨橋、築地大橋がオリンピックをイメージしたカラーの特別なライトアップで彩られた。



▲佃大橋



▲勝鬨橋



▲築地大橋

ウ オリンピック・アゴラの開催

大会開催を間近に控え、日本橋では、アート・カルチャー・スポーツを融合させ、オリンピック精神や価値を伝える文化イベント「オリンピック・アゴラ」がオリンピック文化遺産財団により開催された。街中にはオリンピックを象徴するアート作品やオーディオ・ビジュアル映像作品、シンボル、ポスターなどが設置されたほか、過去の大会メダルや聖火リレートーチ、開会式衣装などの歴史的なコレクションなどの展示も行われ、オリンピックムーブメントを盛り上げた。

また、オフィシャルパートナーから区内小学校に「オリンピック・アゴラを見に行こう！」の案内チラシの配布があり、約380人の区立小学校児童が来場し、来場記念品がプレゼントされた。

●オリンピック・アゴラ

開催期間：令和3(2021)年7月1日(木)～8月15日(日)

場 所：日本橋室町エリア（日本橋三井タワー、室町三井ホール&カンファレンス、コレド室町テラス大屋根広場、福德の森、三越前駅地下歩道など）

内 容：オリンピック・アート・ビジョン、オリンピック・スピリット展、TOKYO2020 ビッグメダルモニュメント展示など

主 催：オリンピック文化遺産財団

オフィシャルパートナー：三井不動産株式会社

●オープニングイベント

日 時：令和3(2021)年6月30日(水) 午前11時～正午

会 場：日本橋三井タワーアトリウム

内 容：主催者代表・オフィシャルパートナー代表・東京2020組織委員会会長・JOC会長・中央区長の挨拶、ゲストオリンピック・アーティストのトーク、フォトセッションなど



▲日本橋のオリンピックシンボル



▲TOKYO2020ビッグメダルモニュメント



▲過去大会のポスターデザインなどを使ったシティドレッシング



▲アート作品「連帯と協力」戸鋪誠氏



▲オリンピック・パラリンピアンアーティストがデザインした暖簾

エ ブルーインパルスによる展示飛行

東京2020オリンピック開会日の令和3(2021)年7月23日(祝)午後、都内上空では、ブルーインパルスによる青・黄・黒・緑・赤の5色のカラーズモークを使った展示飛行が実施された。オリンピックスタジアム上空ではオリンピックシンボルの5つの輪が描かれた。



▲ブルーインパルス（浜町公園から撮影）

オ 東京2020オリンピック開会式

開会式は、コロナ禍による大会延期を踏まえて式典内容が簡素化・規模縮小となる中、約6,000人の選手が参加して実施された。

式典では、オリンピック旗の運び役をコロナ禍のライフラインを支えてきたエッセンシャルワーカーが担い、その一人として本区中央清掃事務所職員が参加した。

日 時：令和3(2021)年7月23日(祝)午後8時00分～11時51分

会 場：オリンピックスタジアム

3 オリンピック選手村の開村

ア 概要

① 開村期間

令和3(2021)年7月13日(火)～8月11日(水)(30日間)

※プレオープン期間 7月7日(水)～12日(月)

② 場所

中央区晴海四丁目・五丁目(約44ha)

③ 機能

大会期間中に選手・大会関係者が滞在する生活拠点

※詳細は166～168ページを参照

イ 選手村滞在中の選手・大会関係者

大会参加に必要な用務先以外への外出が制限されていた選手・大会関係者は、施設やサービス、おもてなしなど、選手村での体験をInstagramやTikTokなどのSNSで発信した。SNSからは、選手村での生活、食事、日本文化、先端技術などに触れて楽しんでいる様子や、おもてなしへの感謝などが伺えた。

(投稿例)

- 折り鶴オブジェへサインする様子
- 選手村からの眺望写真や、フラッグポール、オリンピックシンボルなどの前で記念撮影
- 食堂で提供された多種多様な食事を楽しんでいる様子
- 先端技術が搭載された自動運転電動車
- 日本のおもてなしへの感謝を示す懸垂幕などのメッセージ掲出

ウ 大会中に生じた課題と東京2020組織委員会による対応

① スクリーニング検査キット配布における混乱

直前まで大会参加者の入村日や人数が確定しなかったため、検査キットの不足・過剰配布が発生した。

また、CLO（コロナ対策責任者）による検査キットの配布が停滞した。

対応：●配布数の調整と余剰キット回収により不足分に対応

●検査キット不足分をメールで発注できる仕組みを構築

●配布方法を追加し、検査センターや回収場所などで随時配布

② 所定の場所以外での飲酒

晴海ふ頭公園や居住棟周辺に複数の選手などが集まり、飲酒や大音量での音楽再生などを行う騒動が発生した。

対応：●初期対応として東京2020組織委員会スタッフが現場で中止を要請、その後集会は解散

●団長会議にて選手団に対し注意喚起

●夜間の村内の見回り体制を強化

※令和3(2021)年9月28日東京2020組織委員会理事会資料「大会振り返り（速報版）」より引用

エ 本区のおもてなしの取組

選手村における本区のおもてなしの取組として、折り鶴ウェーブ、花のおもてなし、中央区でアサガオおもてなしプロジェクトを実施した。詳細は72、74ページを参照。

4

公式練習会場の開設

ア 3x3 バスケットボール公式練習会場

令和元(2019)年6月7日(金)に東京2020組織委員会と締結した「中央区立総合スポーツセンターの使用に関する覚書」に基づき、東京2020オリンピック期間中に3x3 バスケットボールの公式練習会場として、総合スポーツセンターを貸し出した。

施設の貸出しに当たり、本区では、IF(国際競技連盟)が定める競技規則に適合させるため、2階主競技場(メインアリーナ)の移動式バスケットゴール(2面)を床に固定させる工事の実施や、指定管理者による使用期間中の清掃、パーティションなどの備品貸出しの協力、東京2020組織委員会との緊急連絡先の共有による緊急事態や不測の事態への備えなどの対応を行った。

東京2020組織委員会では、選手などの行動ルールを定めた「プレイブック」を遵守するため、一般の利用者と選手の利用動線が交錯しないように分け、警備員の安全管理の下に入退場し、動線が交錯する地下2階には大会ボランティアを配置して選手と一般利用者が交代で通過するよう対応した。

本区では、大会の魅力やアスリートの迫力を身近に感じてもらうとともに、心のレガシーを残す機会を提供するため、区内の小中学生を対象に練習見学を企画し、10団体170人、個人287人の見学申込みがあったが、緊急事態宣言の発令に伴い中止とした。

期 間：令和3(2021)年7月19日(月)～28日(水)

使用施設：総合スポーツセンター地下2階 第2競技場、2階 主競技場（メインアリーナ）、3階 第3会議室、小体育室、4階 第1会議室、第2会議室

使用用途：バスケットボールコートでの練習（第2競技場は非公開でのチーム練習）、補食、ドーピング検査、プレス取材、スタッフ休憩室

使用国数：男子 出場全8カ国
 ラトビア（金）、ロシアオリンピック委員会（銀）、セルビア（銅）、オランダ、中国、日本、ベルギー、ポーランド

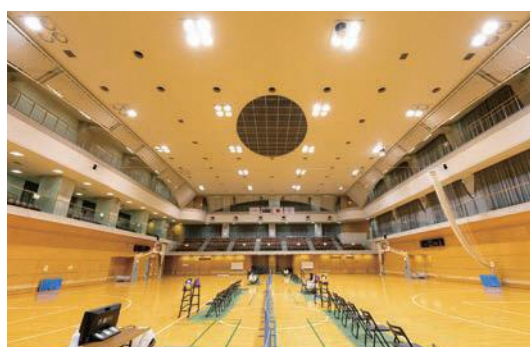
女子 出場全8カ国中7カ国
 アメリカ（金）、ロシアオリンピック委員会（銀）、中国（銅）、イタリア、日本、モンゴル、ルーマニア

おもてなし：折り鶴ウェーブの折り鶴封筒を選手団へ配布

レガシー：区で用意した旗に、各国代表選手たちがメッセージを記入した。大会のレガシーとして、総合スポーツセンターへ展示
 大会が開催された場所であることを区民の記憶に残し、地域に有形の大会レガシーとして継承していくことを目的に、銘板（プレート）を総合スポーツセンターに設置（令和4（2022）年3月予定）



▲青海アーバンスポーツパークで開催された3x3 バスケットボール競技（左右写真 Photo by Tokyo 2020 / Meg Oliphant）



▲総合スポーツセンターの練習会場の様子（Photo by Tokyo 2020 / Ryosei WATANABE）

▲メインアリーナでは4面のコートを設置（Photo by Tokyo 2020 / Ryosei WATANABE）



▲総合スポーツセンター（Photo by Tokyo 2020 / Ryosei WATANABE）



▲選手たちへ折り鶴を配布



▲選手のメッセージが記入されたフラッグ

イ 7人制ラグビー公式練習会場

令和2(2020)年12月8日(火)に東京2020組織委員会と締結した「中央区立中央小学校の使用に関する覚書」に基づき、東京2020オリンピック期間中の7人制ラグビー公式練習会場として、中央小学校プール施設を貸し出した。

東京2020組織委員会では、選手などの行動ルールを定めた「プレイブック」を遵守するため、選手と周辺の住民などが交錯しないようプール入口正面にバスを停車して入退場するとともに、警備員を配置するなどして安全管理を行った。

本区においても、選手が利用する時間帯については、施設を独占的に使用させるとともに、東京2020組織委員会と緊急連絡先を共有し、緊急事態や不測の事態に対応できるよう備えた。

期 間：令和3(2021)年7月21日(水)～31日(土)

使用施設：中央小学校プール施設

使用用途：リカバリー用プール、ドーピング検査、スタッフ休憩室

使用国数：男子 出場全12カ国中1カ国

オーストラリア

女子 出場全12カ国中6カ国

フィジー(銅)、アメリカ、オーストラリア、カナダ、ケニア、中国

交 流：中央小学校児童たちによる応援メッセージボードを掲示し、選手が児童へのメッセージをボードに記入する非接触での交流を実施。また、教育委員会が用意したラグビーボールに、男子日本代表チームがサインを記入

おもてなし：折り鶴ウェーブの折り鶴封筒を選手団へ配布



▲東京スタジアムで行われた7人制ラグビーの試合(左右写真 Photo by Tokyo 2020 / Meg Oliphant)



▲警備員の安全管理の下で選手が入退場(中央小学校前)



▲中央小学校児童の応援と選手からのお礼が書かれたメッセージボード



▲男子日本代表のサインが記入されたラグビーボール

5 選手等のサポート拠点

ア ブラジルオリンピック委員会拠点

平成29(2017)年6月25日(日)にブラジルオリンピック委員会と締結した「東京2020オリンピック競技大会における学校施設の使用等に関する覚書」に基づき(覚書締結以降の同委員会と本区の交流は、147、148ページを参照)、東京2020オリンピック期間中、選手村に近接する豊海小学校・豊海幼稚園をブラジルオリンピック委員会独自の拠点として貸し出した。

選手の行動ルールを定めた「プレイブック」を遵守するため、当初計画されていたファミリーアンドフレンズラウンジ(選手などが家族や友人と触れ合う憩いの場)の設置が中止となるとともに、地域の住民や学校関係者などとの接触がないよう、入退場動線、使用範囲を分けて学校施設を使用した。

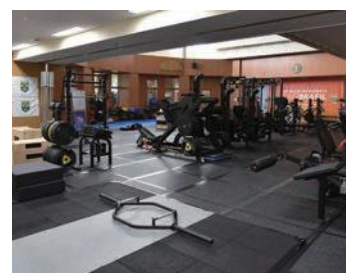
また、児童・園児たちとの交流についても、非接触の形式で行われ、その取組の様子がテレビや新聞でたびたび紹介された。



▲ブラジルのフラッグで彩られた校舎



▲体育館にバレーボールコートを設置



▲遊戯室にトレーニング設備を設置



▲児童から選手への応援メッセージ



▲園児から選手への応援メッセージ



▲選手から児童・園児へのお礼のメッセージ

期 間：令和3(2021)年7月23日(祝)～8月8日(祝)

使用施設：豊海小学校 2階体育館、5階ランチルームなど

豊海幼稚園 1階遊戯室、礼法室など

使用用途：選手のトレーニングや食事提供などのコンディション調整、ブラジルメディアによるメダリストへのインタビュー取材場所など

職員配置：ブラジルオリンピック委員会の学校施設使用のサポートとして、区職員を学校に配置 延べ60人

交 流：豊海小学校・豊海幼稚園PTAを中心としたプロジェクトチームメンバーが、児童・

園児から選手への応援メッセージなどを選手利用エリアに展示。展示したボードへ選手がお礼のメッセージを記入したほか、選手のサイン入りボールが学校へ贈呈されるなどの非接触による交流が行われた。

おもてなし：折り鶴ウェーブの折り鶴封筒を配布

イ JSC村外サポート拠点

東京2020大会期間中、選手村に隣接するほっとプラザはるみを独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）に貸し出し、日本代表選手が最終調整のためのコンディショニングを行う「JSC村外サポート拠点」として使用された。

期 間：令和3（2021）年4月1日（木）～9月30日（木）

使用施設：ほっとプラザはるみ2階ホール・ミーティングルーム、3階温浴施設、4階屋上庭園など

使用用途：選手のトレーニング、プールリカバリー、補食提供等によるコンディションの調整

レガシー：令和3（2021）年9月15日（水）に区長への表敬訪問があり、スポーツ庁から感謝状、JSCからお礼状、JOC・JPCから施設を使用したメダリストのサインがされた日本選手団のTシャツが区に寄贈された。Tシャツは、区役所本庁舎1階に展示した後、レガシーとして令和4（2022）年度の大会1周年イベントや、令和5（2023）年度のリニューアル後のほっとプラザはるみでの展示に活用予定



▲JOCから記念品（メダリストのサイン入りTシャツ）の贈呈（左から、JOC福井団長、山本区長）



▲JPCから記念品（メダリストのサイン入りTシャツ）の贈呈（左から、JPC河合団長、山本区長）

6 中央区ゆかりの選手の応援

●選手

寺田 明日香選手（中央区在住）

令和3（2021）年 3月 オリンピック・パラリンピックに関する講演会出演

令和3（2021）年11月 区長表敬訪問

オリンピック・パラリンピックに関する講演会出演

●出場競技・結果

陸上競技女子100メートルハードル

準決勝1組6着（準決勝進出は同種目で日本勢として21年ぶり）

●応援内容

区のおしらせ令和3（2021）年7月21日号及び区ホームページに紹介記事掲載

区役所本庁舎に懸垂幕設置（令和3（2021）年7月21日（水）～8月10日（火））



▲寺田選手



▲寺田選手のツイート



▲表敬訪問時におもてなしTシャツをプレゼント



Message

東京2020オリンピックに出場して

陸上競技女子100メートルハードル 寺田 明日香 選手

東京オリンピックへの出場に際し、区民の皆さまからたくさんのあたたかい応援をいただき、本当にありがとうございました。

2013年に現役を一度引退し、結婚・出産を経て、7人制ラグビーに転向する形で現役復帰、そして、再度陸上競技に復帰し東京オリンピック出場を目指しました。

その過程では、ケガや育児と競技の両立、大会の1年延期など、様々な困難がありましたが、沢山の方々が支えてくれたからこそ、その困難を乗り越え、念願のオリンピック出場となったと考えています。競技本番では、支えてくれた方々の顔を思い浮かべ、それを力に変え、競技に臨むことができました。

また、晴海地区に設置された選手村では、晴海のきれいな夜景を楽しむ姿や世界中の選手達が晴海ふ頭公園に設置されたオリンピックシンボルで記念撮影をする姿が印象的でした。日本文化体験として中央区が設置した折り鶴ウェーブの取組では、折り鶴のオブジェに、サインや国旗を書かれるなど素敵なおもてなしが展開されており、私もサインを書かさせていただきました。

東京オリンピック出場を通じて、貴重な体験をすることができました。

これからも1年ずつ、大切に競技生活を過ごしていきたいと思っておりますので、引き続き応援よろしくお祈りします。



7 交通対策（オリンピック・パラリンピック共通）

東京2020組織委員会及び東京都は、東京2020大会開催にあたり、都市活動の安定と経済活動の維持を図るとともに、大会関係者などの安全で円滑な輸送を行うため、輸送運営計画を策定するとともに、輸送関連施設の設置、交通マネジメント、交通規制、地元への周知など、各関係機関とともにさまざまな交通対策を行った。

ア 輸送運営計画

東京2020大会では、アスリートや大会関係者、観客、スタッフ等を安全・円滑・迅速に運ぶ輸送と都市活動の安定との両立等を目標として、輸送運営計画が策定された。

本計画は、国や本区を含む関係自治体、警察、交通事業者等から構成される輸送連絡調整会議において議論を重ね、輸送目標及び戦略、大会関係者の輸送、観客及びスタッフの輸送、交通需要マネジメント（TDM）、大会時の運営管理などについて、基本的な考え方や検討の方向性などが取りまとめられた。

区内については、築地や晴海のデポ（車両基地）をはじめ、選手村周辺の交通規制、大会関係者輸送ルートなどが示された。

イ デポ・車両待機場

大会関係車両として使用するバス及びフリート（乗用車）を収容・管理するデポや車両待機場が設置された。

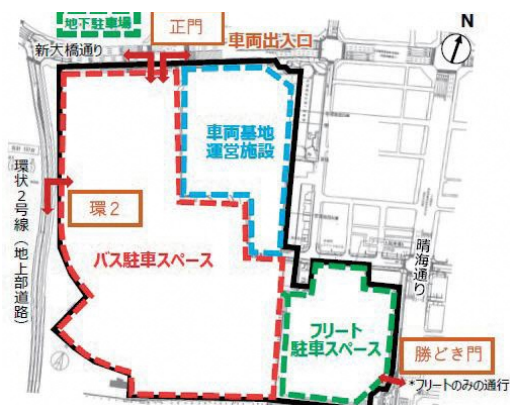
●稼働期間：令和3(2021)年7月7日(水)～9月8日(水)

なお、築地デポでは、NPO法人築地食のまちづくり協議会を通じて築地場外市場の店舗が、大会期間中のドライバーやスタッフ向けの弁当販売に協力した。

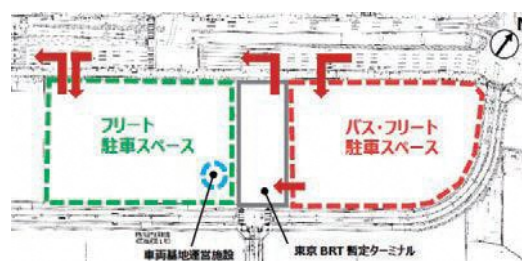


▲築地デポ（第16回輸送連絡調整会議資料より）

地区名	面積	駐車場確保台数		備考
		バス	フリート (乗用車)	
築地五、六丁目	約15.3ha	約830台	約1500台	
晴海二丁目	約1.3ha	—	約330台	西側部分を利用
選手村周辺	約1.5ha	—	約600台	一部は待機場としても利用



▲築地デポ平面図（輸送運営計画V2より）



▲晴海二丁目デポ平面図（輸送運営計画V2より）

ウ メディア関係者バス乗降所

メディア関係者が宿泊するホテルとメディア輸送モールや競技会場を結ぶバスの乗降所が区内の道路上に設置された。

設置期間：令和3(2021)年7月9日(金)～8月11日(水)（パラリンピック時にも使用する乗降所は9月上旬まで）

設置数：オリンピック時25カ所、パラリンピック時3カ所

エ 大会関係者輸送ルートを示す路面表示・看板

公式練習会場となる総合スポーツセンター及び中央小学校への輸送ルートにおいて、大会関係者が通行する路線であることを周知し、利用抑制や時間変更、駐車抑制などへの協力を得るため、桜色の路面表示及び看板を設置した。



▲路面表示・看板（輸送運営計画V2より）

オ 東京2020大会における交通計画に伴う4地区合同協議会

東京2020大会の交通計画については、築地デポや選手村の運営をはじめ、区民生活に多大な影響を及ぼすことが懸念されたため、地元と東京都、東京2020組織委員会及び中央区が、迅速かつ正確な情報共有・協議を行う必要があった。そのため、銀座、築地、勝どき・豊海、晴海の4地区のまちづくり協議会の合同協議会を設置し、大会開催直前まで計8回、交通計画などに関する議論を行った。

<開催実績>

- 第1回 令和元(2019)年 7月24日(水)
- 第2回 令和元(2019)年 7月31日(水)
- 第3回 令和元(2019)年 8月29日(木)
- 第4回 令和元(2019)年 9月18日(水)
- 第5回 令和元(2019)年 9月30日(月)
- 第6回 令和2(2020)年12月24日(木)
- 第7回 令和3(2021)年 4月23日(金)
- 第8回 令和3(2021)年 7月12日(月)

<主な検討内容>

- 都営バス、BRTの運行
- 観客に対する主要駅から競技会場への情報提供
- 選手村周辺のセキュリティ対策と警備方針
- 選手村スタッフなどの通勤（勝どき駅の混雑緩和）
- 晴海地区における駐車場など運営と交通対策
- 豊洲市場関係車両の通行対策
- 築地デポのフリート運行ルート

カ 交通規制の周知

東京都及び東京2020組織委員会は、大会時の交通規制について広く周知を図るため、各種チラシを作成し、該当地域でポスティングなどを行ったほか、ホームページや広報紙などで周知を行った。

また、東京2020大会時の安全・円滑な輸送サービスの提供と、都市活動や経済活動の安定との両立を図ることを目的に、東京都、内閣官房、東京2020組織委員会が事務局となり、大会時の交通混雑緩和を目指す「2020TDM推進プロジェクト」を発足し、さまざまな取組の推進に努めた。

本区においては、広く区民や事業者への周知を図るため、区の広報紙（令和3(2021)年

5月21日号及び7月1日号) や区ホームページへの掲載、区施設でのポスターの掲示やリーフレットなどの配架を行った。

また、交通対策だけでなく、新型コロナウイルス感染症対策も含め、区民にとっても安全な大会の実現に向け、当初の大会開催特集号を発行する予定をとりやめ、交通対策等にかかるチラシを作成し、周知を図った(62,200部発行 令和3(2021)年7月15日新聞折込等により配布)。

<2020TDM推進プロジェクトの主な取組>

- 大会関連情報をメールマガジンで配信
- TDM推進に向けた企業説明会の実施
- 2020TDM推進プロジェクトのホームページで協力者名・企業名を公表
- 大会時の取組に向けた無料の個別コンサルティングの実施
- 大会輸送影響度マップや、大会時の遅延などを想定した所要時間・経路探索システムなどの提供

<中央区内の主な交通規制など>

令和3(2021)年

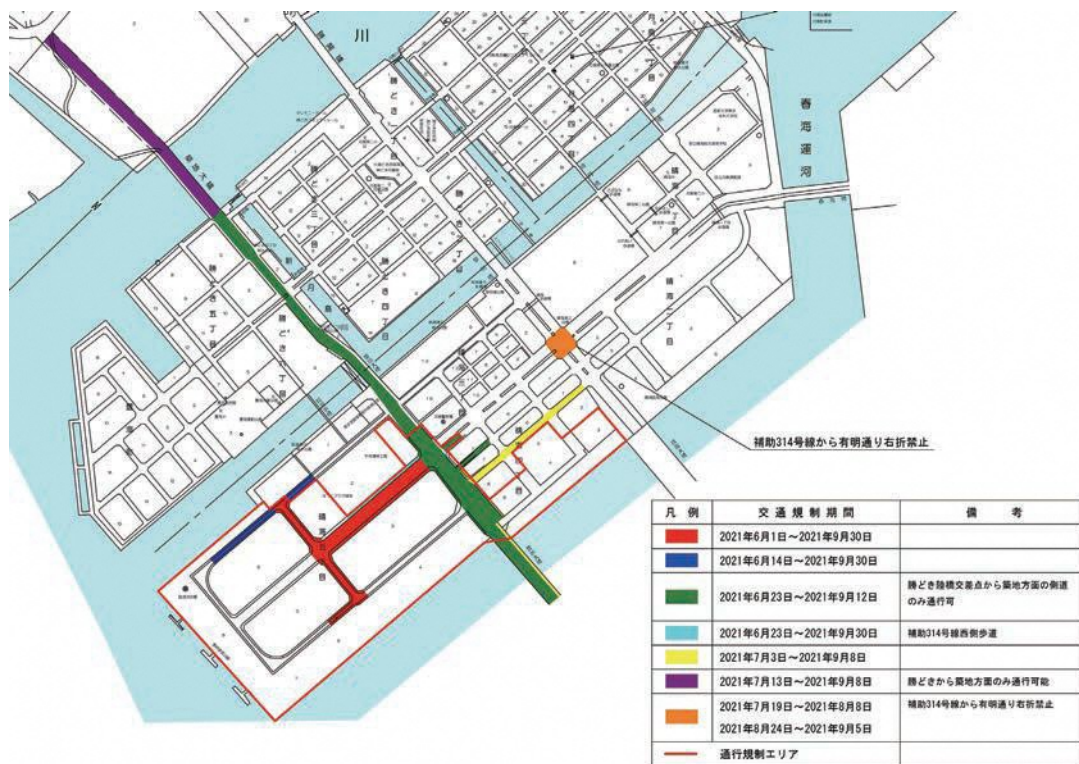
- 6月1日(火)～9月30日(木) 選手村運営エリア内の一部道路の交通規制
都営バス(都03・都04・都05・錦13甲)の経路一部変更
- 6月23日(水)～9月12日(日) 環状第2号線の交通規制
- 7月19日(月)～8月8日(祝) 首都高速道路晴海入口閉鎖
- 7月23日(祝) オリンピック開会式による選手村周辺交通規制
- 8月8日(祝) オリンピック閉会式による選手村周辺交通規制
- 8月24日(火) パラリンピック開会式による選手村周辺交通規制
- 9月5日(日) パラリンピック閉会式による選手村周辺交通規制
- 9月30日(木) 東京2020大会に伴う交通規制の全面解除



▲東京2020大会開催に伴う交通対策等のお知らせチラシ(左・中)



▲選手村周辺交通規制チラシ



▲会場周辺交通対策概略図(選手村交通規制)(中央区作成)

8 関係機関との連携

東京消防庁との連携

東京2020大会期間中、東京消防庁臨港消防署本署が選手村の範囲内となり、人や車両の出入りなどに制限がかかることから、大会期間中の臨港消防署本署の機能確保を図り、区民などの安全・安心を確保するため、ほっとプラザはるみを東京消防庁へ貸し出した。

期 間：令和3(2021)年6月14日(月)～9月30日(木)

使用施設：ほっとプラザはるみ 2階小会議室、和室、レストランなど

使用用途：臨港消防署本署の機能確保のための来署者への対応

臨港消防団の一時的な拠点としても活用

※消防行政上の窓口業務は、一時的に臨港消防署月島出張所に集約

3 東京2020パラリンピック開催期間の中央区

オリンピックが閉幕しても新型コロナウイルス感染症の状況が改善しない中、令和3(2021)年8月16日(月)、IPC、東京2020組織委員会、東京都、国の四者により、パラリンピックについても原則無観客、沿道観戦自粛の方針で実施することが合意された。

基礎疾患のあるパラリンピック選手らへの配慮の必要性から、より厳格な感染対策を講じた上で、パラリンピック選手村が8月17日(火)に開村した。

本区では、オリンピックから継続して選手・大会関係者を歓迎するおもてなしに取り組んだほか、オーストラリアパラリンピック委員会に学校施設を貸し出すなど、大会成功に向けた支援を行った。

大会最終日の9月5日(日)には、本区も舞台となるマラソン競技が行われ、銀座や日本橋など都内の名所を選手が駆け抜けた。

1 東京2020パラリンピック聖火リレー

ア 概要

パラリンピック聖火リレーはパラリンピック発祥の地英国・ストーク・マンデビル及び開催国で採取された火を1つにし、オリンピックの熱気と興奮をつなぎながら、人々にパラリンピックの精神と価値を伝えるものである。

東京2020パラリンピック聖火リレーは、①聖火フェスティバル②集火式③開催都市内聖火リレーで構成され、「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」をコンセプトとして、聖火ランナーは「はじめて出会う3人」が1組のチームとなり、令和3(2021)年8月12日(木)から8月24日(火)まで実施された。日本全国では、合計13日間開催され、最終日には最終聖火ランナー(上地結衣選手/車いすテニス、内田峻介選手/ボッチャ、森崎可林選手/パワーリフティング)がオリンピックスタジアムにある聖火台へ聖火を灯し、終了した。その後、パラリンピック期間中は江東区の夢の大橋(有明側)で聖火が展示された。

当初、本区では、日本橋室町三井タワー大屋根広場で聖火の出発を祝う出発式を行い、中央通りを走行ルートとして聖火ランナーが日本橋や銀座を通り、銀座五丁目交差点へ到着する予定だったが、令和3(2021)年8月10日(火)及び16日(月)に東京都から聖火リレーの実施形態変更が公表され、出発式・公道走行が中止となった。そのため、渋谷区にある都立代々木公園中央広場において、無観客で当日聖火リレーを予定していた3区(中央・港・渋谷)が順番に点火セレモニーを実施した。

【東京2020パラリンピック聖火リレーの経過】

令和2(2020)年		
—	3月24日(火)	東京2020大会延期、聖火リレー延期
令和3(2021)年		
43道府県	8月12日(木)～8月16日(月)	聖火フェスティバル (採火、聖火ビジット、出立)
静岡県 (競技開催県)	8月17日(火)	聖火フェスティバル (採火、聖火ビジット、聖火リレー、出立) ※公道走行は一部で中止となり、点火セ レモニーを実施
千葉県 (競技開催県)	8月18日(水)	聖火フェスティバル (採火、聖火ビジット、聖火リレー、出立) ※公道走行は中止となり、点火セレモニー を実施
埼玉県 (競技開催県)	8月19日(木)	
イギリス	8月19日(木)	聖火採火式
東京都	8月20日(金)	聖火フェスティバル (採火、聖火ビジット、聖火リレー) ※公道走行は中止となり、点火セレモニー を実施
		採火、集火式
	8月21日(土)～8月24日(火)	開催都市内聖火リレー (聖火リレー、聖火ビジット、セレブレ ーション) ※公道走行及びセレブレーション等は中 止となり、点火セレモニーを実施
	8月24日(火)～9月5日(日)	パラリンピック期間中、江東区の夢の大 橋(有明側)にて聖火展示

※採火：各地で地域の特色を活かした火を採ること。
 ※聖火ビジット：採火した火を施設などで展示すること。
 ※出立：採火した火を開催都市である東京都へ送り出すこと。

イ 東京2020パラリンピック聖火リレー採火

令和3(2021)年8月12日(木)から全国各地で採火などが行われ、東京都では8月20日(金)に都内全62区市町村が採火などを実施した。

当初、本区では採火と併せてセレモニーを予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、セレモニーは中止した。銀座通連合会及び東京ガスエコモ株式会社との協力のもと、銀座のガス灯から採火のみを実施し、東京2020パラリンピック聖火(中央区の火)として東京都へ送り出した。

日 時：令和3(2021)年8月20日(金) 午前9時～9時15分

会 場：銀座通り口交差点付近の高架下ガス灯(銀座1-11先)

主 催：東京都聖火リレー実行委員会

共 催：東京2020組織委員会

採火方法：明治時代に東京で初めて設置され、昭和時代に復元した、歴史を引き継ぎ銀座のまちを照らし続けるガス灯から採火

参 加 者：関係者のみ



▲銀座のガス灯から「中央区の火」を採火



▲中央区の火（採火後、都内集火式に送った）



Message 聖火を希望の灯に

一般社団法人銀座通連合会理事長 齋藤 充 様

東京2020大会に向けて、競技会場や選手村の近くにあり、日本最大級のショッピングストリートを擁する銀座では、大会期間中の賑わいを想定し、各店舗の営業時間などの見直しやおもてなし方法を皆で考え、また、交通渋滞緩和対策などの課題を検討しておりました。しかし、想定外の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、外国人はもちろん、街から観光客が全くいなくなり、大会そのものも延期の末に原則無観客開催と状況は一変してしまいました。



聖火リレーも直前で公道走行などが中止となってしまったのですが、中央区の東京2020パラリンピック聖火は、明治銀座煉瓦街のガス灯レプリカより、採火が行われることとなりました。幸運にも銀座通連合会理事長として、聖火の採火という一生記念に残る、非常に貴重な体験をさせていただきました。

夏の暑い盛りでしたが、山本中央区長の持つランタンに火を灯し、灯の温かみを感じる大変幸せなひと時でした。この灯が、コロナ禍により疲弊した全世界の人々が再起に向け飛び立つ希望となってくれることを、切に願っております。

ウ 東京2020パラリンピック聖火リレー都内集火式

都内全62区市町村で採火された火を「東京2020パラリンピック聖火（東京都の火）」として、ひとつの火に統合する式典が採火と同日に実施された。

- 日 時：令和3(2021)年8月20日(金)
午前11時40分～午後0時30分
- 会 場：東京都庁都民広場（新宿区西新宿2-8-1）
- 内 容：ウェルカムプログラム
集火セレモニー
フォトセッション
- 参 加 者：関係者のみ



▲ウェルカムプログラム



▲都内の火を統合し、東京都の火が誕生

エ 東京2020パラリンピック聖火リレー集火式

都内集火式後、全47都道府県で採火された火と英国のストーク・マンデビルで採火された火が一つになり、東京2020パラリンピック聖火が誕生した。

- 日時：令和3(2021)年8月20日(金) 午後8時～8時40分
- 会場：迎賓館赤坂離宮前庭(港区元赤坂2-1-1)
- 主催：東京2020組織委員会
- 共催：東京都聖火リレー実行委員会
- 内容：国歌演奏
集火セレモニー
フォトセッション
- 参加者：関係者のみ



▲東京2020パラリンピック聖火誕生

オ 東京2020パラリンピック聖火リレー点火セレモニー(中央区分)

- 日時：令和3(2021)年8月24日(火) 午前10時55分～11時29分
- 会場：代々木公園中央広場(渋谷区代々木神園町2-1)
- 主催：東京2020組織委員会
- 共催：東京都聖火リレー実行委員会
- 内容：聖火ランナーによるトーチキスリレー
フォトセッション
- 参加者：聖火ランナー関係者のみ
聖火ランナー 49人
観覧者(聖火ランナー家族など) 96人
その他招待者3人
合計148人

その他：同一の会場で行われた他区の状況

自治体名	時間	参加者
港区	午前11時49分～午後0時17分	聖火ランナー 32人 観覧者(聖火ランナー家族など) 66人 その他招待者 25人 合計123人
渋谷区	午後0時35分～1時1分	聖火ランナー 44人 観覧者(聖火ランナー家族など) 50人 その他招待者 74人 合計168人

セレモニー映像の配信

- NHK東京2020パラリンピック聖火リレーライブストリーミングサイト
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会東京都ポータルサイト(出発式のステージに出演予定であった知的障害者生活支援施設レインボーハウス明石(ダンス)、中央区地域スポーツクラブ大江戸月島(キッズチアダンス)の動画も配信)



▲区長によるトーチへの点火



▲トーチキス



▲トーチキスリレー



▲フォトセッション



▲聖火リレー会場



▲セレモニー映像に出演したレインボーハウス明石(ダンス)



▲セレモニー映像に出演した中央区地域スポーツクラブ大江戸月島(キッズチアダンス)



Message

パラリンピック聖火ランナーを経験して

金子 釉 様 (晴海中学校卒業 15歳)

私は中学2年生の時に東京2020パラリンピックの聖火ランナーのお話を先生からいただき、パラスポーツにとっても興味があり、応募いたしました。新型コロナウイルスの影響で一年延期になり、中止になるかもしれないと噂されていましたが、ランナーに選ばれとても嬉しかったです。

聖火リレー当日、私と同じグループには、障害のある方などいろいろな方がいました。バスの乗り降りや段差を越えることがとても大変そうに見えていたのに、何もできず、自分の無力さを痛感しました。

この経験から、どのように障害のある方と関わればいいのかを改めて考え、学んでいき、困っている人がいたら自分から手を差し伸べられるようにしていきたいと強く思います。

最後に、このような機会を与えてくださった方々に心から感謝申し上げます。

【当初予定されていた東京2020パラリンピック聖火リレー案】

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった本区における聖火リレー出発式、公道走行（聖火リレールート）などの予定は、次のとおりであった。

日 時：令和3(2021)年8月24日(火) 午前10時～10時43分

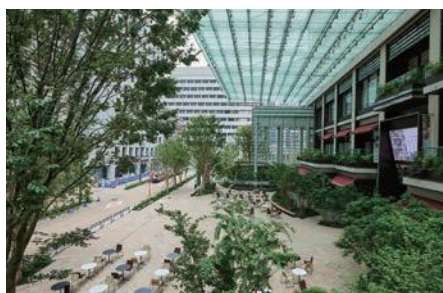
ル ー ト：日本橋室町三井タワー大屋根広場～銀座五丁目交差点

主 催：東京2020組織委員会

共 催：東京都聖火リレー実行委員会

内 容：出発式（トーチへの聖火の点火、ステージプログラム）
聖火リレー

そ の 他：区独自のイベントとして出発式と聖火リレーの様子をライブ配信



▲出発式会場



▲東京2020パラリンピック聖火リレー中央区内ルート

2 東京 2020 パラリンピック開幕

ア 大会を盛り上げるまちの装飾

① フラッグやバナーによる装飾

選手村に続く晴海通りや本区の目抜き通りである中央通りをはじめとする幹線道路、商店街、駅などに統一したデザインのフラッグやバナーが掲出され、大会を盛り上げた（オリンピックから継続）。

② パラリンピック日本代表選手団を応援するシティドレッシング

日本橋では、商業施設の壁面装飾などによりパラリンピック日本代表選手団を応援するシティドレッシングが実施された。

また、日本橋の橋詰めではパラリンピックシンボルのスリーアギトスが設置され、シンボルの前で記念撮影をする多くの姿が見られた。

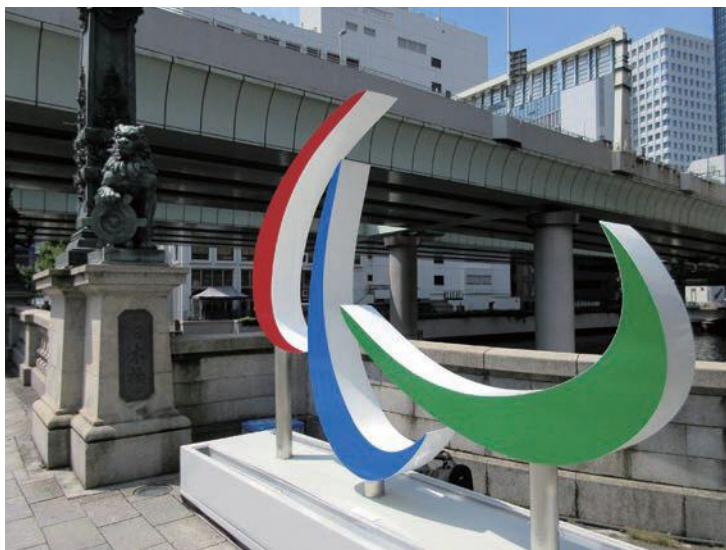
名 称：日本橋シティドレッシング for TEAM PARALYMPIC JAPAN

開催期間：令和3(2021)年8月24日(火)～9月5日(日)

場 所：中央通りを中心とした日本橋室町エリア

共 催：JPC、三井不動産株式会社

協 力：東京2020組織委員会



▲パラリンピックシンボルのスリーアギトス



▲パラリンピックシンボルカラーによるライトアップ (Photo by Tokyo 2020 / Uta MUKUO)



▲総勢81人のパラリンピック代表選手が登場した装飾



▲選手にエールを送る装飾

③ 交通機関のマスコットラッピング

都営バスや地下鉄では、大会マスコットのミライトワとソメイティがラッピングされた車両が使用された（オリンピックから継続）。

イ 橋梁などのライトアップ

医療従事者への感謝、アスリートへの応援、都市景観の世界への発信を目的として、橋梁、競技施設などのライトアップが令和3（2021）年8月24日（火）から9月5日（日）まで実施された。

区内では、清洲橋、永代橋、佃大橋、勝鬨橋、築地大橋がパラリンピックをイメージしたカラー3色（赤・青・緑）の特別なライトアップで彩られた。

ウ パラリンピックギャラリー銀座のオープン

東京都は、銀座六丁目に、パラアスリートの迫力を感じる写真や競技用具の展示、パラスポーツの体験コーナーなどさまざまなコンテンツでパラリンピックの魅力に触れることができるパラリンピックギャラリー銀座をオープンした。

同施設は、シティキャストの活動場所の一つとなり、来場者の案内などのボランティア活動が行われた。

本区が製作した「おもてなし扇子」などが来場の記念品として配布された。

開設期間：令和3（2021）年7月20日（火）～9月5日（日）

場 所：銀座6-5-13 銀座美術館ビル1階



▲パラリンピックギャラリー銀座の外観・シティキャストが案内



▲パラアスリートの競技写真の展示



▲ボッチャ体験コーナー



▲競技用義足などの展示

常設企画：競技体験（ボッチャ）、IPC初の公式スマートフォン向けゲーム、映像放映（アスリート動画など）、大会情報のパネル、著名なカメラマンが撮影したアスリート写真、競技用車いす、ボール、競技用義足の展示など

特別企画：アスリートや著名人によるトークショーなどのオンライン配信

運営：東京都

エ ブルーインパルスによる展示飛行

パラリンピック開会日の令和3（2021）年8月24日（火）午後、都内上空では、ブルーインパルスによる赤・青・緑の3色のカラーズモークを使った展示飛行が実施された。区内でも多くの人が足を止め、写真や動画に収めようとする姿が見られた。



▲中央区上空を飛行するブルーインパルス



▲多くの人がカメラやスマートフォンを空に向けた（銀座）

オ パラリンピック競技表彰式への区長及び区議会議員の出席

オリンピックスタジアムで行われるパラリンピック競技表彰式のギフトプレゼンターとして、区長及び区議会議員が出席し、メダリストとなった選手に祝辞とともにビクトリーブーケを贈った。

出席者	年月日	対象競技
区長	令和3（2021）年 8月27日（金）	女子円盤投げ F55（車いす） 女子100m T35（脳性まひ）
	8月30日（月）	男子走り高跳び T47（上肢切断、上肢機能障がい） 女子1500m T11（視覚障がい） 男子100m T33（車いす）
区議会議員	8月27日（金）	男子100m T37（立位） 男子100m T47（上肢切断、上肢機能障がい）
	8月30日（月）	男子砲丸投げ F41（低身長）



メダリストに贈られたパラリンピック
マスコットのビクトリーブーケ
(Photo by TOKYO 2020/Kenta Harada)

3 パラリンピック選手村の開村

下記のア、イ、ウ以外は、基本的にオリンピック開催期間と同様のため、オリンピック選手村の開村(41、42ページ)を参照。

ア 開村期間

令和3(2021)年8月17日(火)～9月8日(水)(23日間)

※プレオープン期間 8月15日(日)・16日(月)

イ アクセシビリティ対応

- 東京2020組織委員会が定めたアクセシビリティ・ガイドラインに基づき、動線の養生やスロープの追加などの対応を実施
- 車いす使用者など、乗車に当たって配慮が必要な利用者を対象とした事前予約制の輸送サービスを実施
- 輸送車両には、リフト付きバスや低床バス、車いすでの乗車がしやすい乗用車を配備
- 選手村内の乗降場に乗降用スロープを設置

ウ 大会中に生じた課題と東京2020組織委員会による対応

村内巡回バスと歩行者(パラリンピック選手)の接触事故が発生した。

対応：●救急車で負傷者を村内の総合診療所へ搬送

●発生状況を調査し、安全対策を強化した上で運行を再開

※令和3(2021)年9月28日東京2020組織委員会理事会資料「大会振り返り(速報版)」より引用

4 選手等のサポート拠点

ア オーストラリアパラリンピック委員会拠点

平成31(2019)年4月2日(火)にオーストラリアパラリンピック委員会と締結した、「東京2020パラリンピック競技大会における学校施設の使用等に関する覚書」に基づき、選手村に近接する晴海中学校を同委員会の拠点として貸し出した。

選手の行動ルールを定めた「プレイブック」を遵守するため、当初計画されていたファミリーアンドフレンズラウンジの設置が中止となり、また地域の住民や学校関係者などとの接触がないよう、入退場動線、使用範囲を分けて学校施設を使用した。

大会中に直接的な交流は難しい状況となったが、同校の生徒たちにより選手を応援するメッセージが送られるなどの交流が行われた。

(覚書締結から大会開催前までの同委員会との交流については、148～150ページを参照)

期 間：令和3(2021)年8月14日(土)～9月8日(水)

使用施設：晴海中学校 6階体育館、格技室、特別支援教室など

使用用途：オーストラリアパラリンピック委員会運営事務機能、選手のユニフォーム管理など

職員配置：オーストラリアパラリンピック委員会の学校施設使用のサポートとして、区職員を学校に配置
延べ44人

交流：晴海中学校の生徒たちが選手への応援メッセージを記入した掲示物を贈り、選手村の居住棟へ掲示された。また、オーストラリアパラリンピック委員会より、選手たちのサインが記入されたオーストラリア国旗が学校へ贈呈された。

おもてなし：折り鶴ウェーブの折り鶴封筒を配布



▲体育館に委員会の拠点を設置



▲オーストラリアパラリンピック委員会のスタッフ



▲晴海中学校生徒から送られたメッセージカードで作成した国旗



▲オーストラリアパラリンピック委員会から送られたサイン入り国旗

イ JSC村外サポート拠点

オリンピック期間中から継続して、ほっとプラザはるみを独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）に貸し出し、「JSC村外サポート拠点」が設置された。

詳細については、46ページを参照。

5 中央区ゆかりの選手の応援

●選手

大山 晃司選手（警視庁月島警察署所属）
 令和3（2021）年11月 区長表敬訪問
 オリンピック・パラ
 リンピックに関する
 講演会出演



▲アーチェリー練習風景

●出場競技・結果

パラリンピックアーチェリー
 男子個人W1（車いす） 準々決勝進出
 混合チームW1 初戦敗退

●応援内容

区のおしらせ令和3（2021）年7月21日号
 及び区ホームページに紹介記事掲載
 区役所本庁舎に懸垂幕設置（令和3（2021）
 年8月11日（水）～9月5日（日））



▲大山選手を応援する懸垂幕



▲表敬訪問時におもてなしTシャツをプレゼント



Message 東京2020パラリンピックに出場して

パラリンピックアーチェリー 大山 晃司 選手

ご縁があって、選手村の目の前にある月島警察署から東京パラリンピック出場となりました。駅でお見かけした際に、あたたかい応援の声をかけていただいたり、選手村からバスで競技会場（夢の島公園アーチェリー場）へ移動する際には、沿道から手を振ってくれるなど、たくさんの勇気をいただいて競技に臨むことができました。

みなさんの応援、本当にありがとうございました。

メダル獲得を目標にしていたため、それが叶わなかったことは残念ではありましたが、自国で開催されたパラリンピック出場を楽しむことが出来ました。

また、パラリンピックでの、選手が障がい乗り越え躍動する姿を通じて、障がいについて皆さんに知ってもらい良い機会になったと思っています。障がい者への理解がより一層広まり、共生社会の実現に少しでも近づいていくことを願っています。

今後も世界大会等で経験を重ね、2024年パリ大会ではメダルが取れるようこれからも頑張りますので、引き続き応援よろしくお願ひします。



6 パラリンピックマラソンの開催

東京2020パラリンピック最終日の令和3(2021)年9月5日(日)にマラソン競技が実施された。オリンピックスタジアムを発着点とし、本区においては、日本橋や銀座などの名所をコースとして、選手たちが白熱したレースを繰り広げた。

なお、競技当日は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、人流抑制のため沿道での観戦自粛が呼びかけられた。

日 程：令和3(2021)年9月5日(日)

午前6時30分 T54男子スタート

午前6時40分 T54女子スタート

午前6時50分 T12男子・女子、T46男子スタート

種 目：T12(視覚障がいクラス)男子・女子

T46(上肢切断・上肢機能障がいクラス)男子

T54(車いすクラス)男子・女子

主 催：東京2020組織委員会

コ ー ス：オリンピックスタジアム発着

オリンピックスタジアム～四ツ谷～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～銀座～芝公園

～日本橋～二重橋前～神保町～飯田橋～四ツ谷～オリンピックスタジアム

区内コース：中央通り、永代通り、新大橋通り、清洲橋通り、清杉通り



▲パラリンピックマラソンコース

競技結果：

種目	1位	2位	3位	出場者数
T54 (車いすクラス) 男子	マルセル・フグ (スイス)	章 勇 (中国)	ダニエル・ロマンチュク (アメリカ)	15人
T54 (車いすクラス) 女子	マディソン・デロザリオ (オーストラリア)	マヌエラ・シェア (スイス)	ニキタ・デンブア (オランダ)	16人
T12 (視覚障がいクラス) 男子	エルアミン・シェントッフ (モロッコ)	ジャリド・クリフォード (オーストラリア)	堀越 信司 (日本)	13人
T12 (視覚障がいクラス) 女子	道下 美里 (日本)	エレナ・パウトワ (ロシアパラリンピック委員会)	ロザンヌ・クツェー (南アフリカ)	10人
T46 (上肢切断、上肢機能障がいクラス) 男子	李 朝燕 (中国)	アレックスドウグラス・ピレスダシウバ (ブラジル)	永田 務 (日本)	12人

交通規制：当日は午前4時30分から、マラソンコース全区間において交通規制が開始された。本区内では、江戸バスの一部運休、コミュニティサイクルポートの一部が休止となった。T12 (視覚障がいクラス) 女子最終走者通過後、順次規制解除し、午前9時55分に区内交通規制は全て解除された。

沿道観戦の自粛：新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、人流抑制のため沿道での観戦が自粛となり、区ホームページ、チラシなどでも周知を行った。

施設の貸出：大会への協力として、以下の区施設を東京2020組織委員会へ貸し出した。

施設名称	使用目的
京橋区民館、京橋プラザ区民館、銀座区民館、新場橋区民館、久松町区民館、日本橋公会堂、産業会館	警備・運営スタッフ控室
京橋公園、本石町公園、箱崎川第二公園、浜町公園	鉄柵など競技資機材の保管

区の体制：防災危機管理室に本部を設置し、東京2020組織委員会、警察、消防などの関係機関と連絡体制を取るほか、コース沿道に情報収集、放置自転車整理、公衆便所管理、区道管理等のための職員を配置 (計38人従事) し、不測の事態に備え対応した。

設置時間：当日午前6時～10時30分

問い合わせ等：本部への苦情・問い合わせはなし

役 割	担 当 部 署	人 員
本部 (東京2020組織委員会、警察、消防等との連絡調整)	オリンピック・パラリンピック調整担当課、危機管理課、防災課、スポーツ課	11人
コース沿道での情報収集	オリンピック・パラリンピック調整担当課、スポーツ課	7人
放置自転車等の整理	環境政策課	5人
公衆便所の管理	水とみどりの課	5人
区道の管理	道路課	10人

レガシー：東京2020大会が開催された場所であることを区民の記憶に残し、地域に有形の大会レガシーとして継承していくことを目的に、銘板（プレート）を東日本橋交通導流島街角広場に設置する（令和4（2022）年3月設置予定）。



▲伴走者と共に走る視覚障がいクラスのランナー



▲日本橋を通過する車いすランナー



▲銀座四丁目を通過するランナー



▲沿道観戦自粛の呼びかけ

4 選手・大会関係者等へのおもてなし、情報発信

東京2020大会の中心となる選手村が立地する本区では、大会開催を区の魅力発信と地域活性化の絶好の機会と捉え、区内団体や民間企業など多様な主体と連携し、世界中から訪れる選手・大会関係者などに対するオール中央区でのおもてなし「中央区おもてなしプロジェクト」に取り組んだ。

プロジェクトの展開に当たっては、区が持つ観光資源を最大限に活用し、大会後には更なるまちのにぎわいにつなげていくため、中央区観光協会と連携しながら進めてきた。観光プロモーションの専門知識を有する事業者とアドバイザー契約を結び、地域資源や過去大会の状況を整理するとともに、区民・関係団体からの提案を踏まえ、世界に向けた区の魅力発信や、区民と選手・大会関係者などの交流につながる事業を企画・準備した。

また、来街者に安全・安心で清潔なまちを快適に回遊してもらうため、区内4つの防犯協会によるパトロールの強化とともに、町会・自治会や事業所などによる身近な場所での自主的な清掃、選手村周辺のおもてなし清掃を企画した。

しかし、令和2(2020)年3月に世界的流行が宣言された新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大会が1年延期となるとともに、東京2020組織委員会による大会運営の検討が進められる中で、選手・大会関係者の行動や接触が制限されることとなった。

令和3(2021)年6月には、IOC・IPC・東京2020組織委員会・東京都・国の五者協議により、ライブサイト及びパブリックビューイングを中止又は規模縮小とする方向性が決定したため、本区においても多くの人を一堂に集める事業や回遊型の事業を中止とした。

さらに、7月には政府の緊急事態宣言の発出を受け、人流抑制と感染拡大防止等に向けたより厳しい措置として、ほとんどの会場でオリンピックの無観客開催が決定した(パラリンピックについては、8月に学校連携観戦を除き無観客開催が決定)。

こうした状況で迎えることとなった大会ではあるが、区ではこれまでの取組を無駄にすることなく実現できるよう、非接触での選手・大会関係者などへの歓迎・応援、交流の取組やオンラインを活用した区の魅力発信など、安全・安心を確保しながらおもてなしを実施した。

また、地域の各団体においても、自主的な防犯パトロールやおもてなし清掃などの活動が行われた。

対面での交流は実現できなかったものの、各種おもてなしの準備を通じて幅広く区民が参加し、区内団体や民間企業とも緊密に連携しながら進めてきたことによって、事業の運営ノウハウが得られるとともに、オール中央区で取り組んだ一体感やボランティア意識が醸成され、多様な主体との協力関係を構築できた。こうしたおもてなしの過程で得られた運営手法や連携体制は、今後の本区の事業を展開していく上でも有意義なものとなる。

また、様々な手法を組み合わせた情報発信の結果、選手・大会関係者や今回来日できなかった外国人に区の魅力を届けることができた。今後、外国人観光客の訪日が本格的に回復する時機に向けて、来訪先として選ばれる場所を目指し、活用可能な手法や内容を継続・発展させて展開していくことが大切である。

1 おもてなしプロジェクト

ア 折り鶴ウェーブ

東京2020大会1年前となる令和元（2019）年7月、大会を機に本区を訪れる方々に平和と日本文化の象徴である折り鶴を渡すおもてなしの取組として、「折り鶴ウェーブ」を開始し、渡した折り鶴を通じて世界各地で鶴を折る取組が広がり、世界の恒久平和につながっていくことを目指した。

大会時には、選手・大会関係者や外国人観光客の来訪が見込める場所で区民ボランティアが手渡すことを想定していたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行を受けて選手・大会関係者の行動や接触が制限されることとなったため、選手村をはじめとした大会関連施設において、非接触の取組により展開した。

① 背景

平成30（2018）年2月開催の第5回中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会において、構成員から折り鶴を使ったおもてなしの取組が提案されるとともに、同時期、区内の高齢者クラブからも折り鶴の取組の実施について意見が寄せられた。これらを受けて区は、区民協議会で示された方向性により実施に向けて進めていくこととし、とりわけ区民協議会の下部組織であるボランティア検討部会が中心となって具体的な検討を進めることとした。

② 折り鶴募集

期 間：令和元（2019）年7月28日（日）～12月27日（金）

募集方法：15×15cmの紙で作製した折り鶴を募集し、区役所本庁舎、日本橋・月島特別出張所に設置した回収箱にて回収した。令和元（2019）年11月からは、日本郵便株式会社の協力により、区内44カ所の郵便局にも回収箱が設置された。
作製依頼：多様な人々に広く参加してもらうため、区立学校の児童・生徒や障害者・高齢者の施設や団体へオリジナル折り紙及びチラシを送付し、作製依頼を行った。

募集結果：208,531羽（イベントでの回収を含む）

区民、区内事業所・団体、作製依頼先（区内の各学校（園）、福祉施設・団体など計217カ所）、本取組の趣旨に賛同した区外の個人・団体が参加



▲折り鶴ウェーブチラシ



▲区役所に設置した折り鶴回収コーナー

③ キックオフイベント

折り鶴ウェブの事業開始として、京橋・日本橋・月島の3地域で区民参加により折り鶴を作製してもらうキックオフイベントを開催し、合計で8,686羽の折り鶴が集まった。

	日本橋	京橋	月島
日 時	令和元(2019)年 7月28日(日) 午前10時～午後1時	令和元(2019)年 8月2日(金)～4日(日) 午前10時～午後7時 ※8月2日は午後8時まで	令和元(2019)年 8月25日(日) 午前11時～午後4時
会 場	日本橋三井タワー 1階 アトリウム	銀座伊東屋 (G.Itoya) B1階 Inspiration Hall	晴海トリトンスクエア 2階グランドロビー
会場提供	三井不動産株式会社	株式会社伊東屋	株式会社晴海コーポレーション
参加者数	297人	308人	314人
折り鶴作製数	2,075羽	2,771羽	3,840羽
ボランティア	18人	延べ27人	15人
連 携 イベント	—	夢描き夢創るGINZA プロ ジェクト (主 催：NPO 法 人 セン ター・オブ・ジ・アーツ)	・晴海トリトン 鉄道オモ チャパーク(主 催：住商 アーバン開発株式会社) ・東京2020大会後の選手 村のまちづくりPR(主催： 東京都都市整備局)
同日開催 イベント	「日本橋」橋洗い	ゆかたで銀ぶら	—



▲キックオフイベントチラシ



▲日本橋三井タワーでのキックオフイベント



▲銀座伊東屋でのキックオフイベント



▲晴海トリトンスクエアでのキックオフイベント

④ 地域イベントでの展開

a ブーケ祭り

日 時：令和元（2019）年6月21日（金）、22
日（土）午前10時～午後4時
会 場：女性センター「ブーケ21」
主 催：中央区ブーケ祭り実行委員会
内 容：折り鶴作製ブース設置



▲ブーケ祭りでの折り鶴作製ブース

b 子どもとためす環境まつり

日 時：令和元（2019）年9月28日（土）
午前10時～午後3時
会 場：明正小学校
主 催：中央区環境保全ネットワーク
内 容：折り鶴作製ブース設置



▲子どもとためす環境まつりでの折り鶴作製ブース

c 子どもフェスティバル

日 時：令和元（2019）年10月20日（日）午前9時30分～午後2時
会 場：浜町公園
主 催：中央区・中央区教育委員会・中央区子どもフェスティバル実行委員会
内 容：折り鶴作製ブース設置（少年リーダー養成研修会スタッフコーナー内）

d 健康福祉まつり

日 時：令和元（2019）年10月27日（日）午前10時～午後3時
会 場：あかつき公園・福祉センター・教育センター
主 催：中央区健康福祉まつり2019実行委員会
内 容：折り鶴作製ブース設置（福祉体験めぐりスタンプラリーのチェックポイントのうち3か所）

e 中央区民文化祭 作品展

日 時：(a) 令和元（2019）年11月1日（金）～4日（休）
午前10時～午後8時（4日（休）は午後4時まで）
(b) 令和元（2019）年11月7日（木）～10日（日）
午前10時～午後6時（10日（日）は午後4時まで）
(c) 令和元（2019）年11月14日（木）～17日（日）
午前9時～午後4時
会 場：(a) 築地社会教育会館
(b) 日本橋社会教育会館
(c) 月島社会教育会館
主 催：中央区
内 容：折り鶴作製ブース設置

f 東京エキマチフェス

日時：令和元(2019)年11月2日(土)、3日(祝)
午前11時～午後4時
会場：東京駅八重洲口 グランルーフ2階 ペDESTリアンデッキ
主催：東京ステーションシティ運営協議会
内容：折り鶴作製ブース設置



▲東京エキマチフェスでの折り鶴作製ブース

g BEYOND FES 日本橋

日時：令和元(2019)年11月5日(火)～11日(月)
午前11時～午後8時
※9日(土)を除く
※11日(月)は午後4時まで
会場：コレド室町テラス
主催：東京都
内容：折り鶴作製ブース設置



▲BEYOND FES 日本橋での折り鶴作製ブース

h 中央区観光情報センター「折り鶴ウェブ折り鶴作製イベント」

日時：令和元(2019)年11月24日(日)、30日(土)、12月8日(日)、15日(日)、22日(日)
午後2時～4時
会場：中央区観光情報センター
主催：中央区観光情報センター
内容：折り鶴作製ブース設置



▲中央区観光情報センターでの折り鶴作製ブース

⑤ 袋詰め

折り鶴募集で集まった折り鶴を大会時に配布するための準備として、区民ボランティアを募集し、折り鶴の袋詰めを実施した。(合計25,000袋)

	京橋	日本橋	月島
日時	令和2(2020)年 2月28日(金)、2月29日(土) 午後1時～4時	令和2(2020)年 3月8日(日)、3月9日(月) 午後1時～4時	令和2(2020)年 3月15日(日)、3月16日(月) 午後1時～4時
会場	新富区民館	浜町区民館	月島区民館
内容	折り鶴3羽・オリジナル折り紙5枚・本取組や折り方の案内1部を和風のデザイン・素材の封筒に袋詰め		
参加者	52人	43人	70人

※上記の他、協力の申し出があった福祉センター、シニアセンター、桜川敬老館、浜町敬老館、勝どき敬老館においても袋詰めを実施



▲折り鶴封筒（右）と内容



▲新富区民館での袋詰め



▲浜町区民館での袋詰め



▲月島区民館での袋詰め

⑥ 大会時の展開

a 選手村

東京2020組織委員会と連携し、選手村における選手・大会関係者の日本文化体験として折り鶴ウェーブを展開した。

期 間：令和3（2021）年7月13日（火）～9月8日（水）

対 象：選手村を利用する選手・大会関係者

- 内 容：
- 袋詰めした封筒（折り鶴封筒）やオリジナル折り紙を活用して日本の折り紙・折り鶴の文化を体験できるコーナーを設置
 - 前面がアクリル製の什器8台に折り鶴を入れ、歓迎の気持ちを表したオブジェ（幅7.2m、高さ2.5m、奥行き0.75m）を展示
 - パラリンピック期間には、パラリンピアンが見やすいよう低い位置にボックス型ミニオブジェ 26個を追加で設置

レガシー：選手から多数のサインなどが書き込まれたオブジェ・ミニオブジェは、選手村に隣接するほっとプラザはるみのリニューアルオープン（令和5（2023）年度予定）に合わせて展示予定



▲オブジェの展示



▲オブジェには選手等によるサインなどが書き込まれた

b 大会関連施設

公式練習会場や各国の拠点において、選手・大会関係者に折り鶴封筒を配布した。

- 期 間：令和3(2021)年7月～9月(日程は施設によって異なる。)
 場 所：3x3 バスケットボール公式練習会場(総合スポーツセンター)
 7人制ラグビー公式練習会場(中央小学校)
 ブラジルオリンピック委員会拠点(豊海小学校・豊海幼稚園)
 オーストラリアパラリンピック委員会拠点(晴海中学校)
 内 容：折り鶴封筒の配布(合計750袋)



▲3x3バスケットボール公式練習会場での配布



▲7人制ラグビー公式練習会場での配布

c 区内宿泊施設

- 期 間：令和3(2021)年7月～9月(日程は施設によって異なる。)
 対 象：区内宿泊施設を利用する大会関係者
 ※中央区ホテル旅館組合を通じて折り鶴配布の協力を呼びかけ、4施設が協力
 内 容：折り鶴封筒・折り鶴単体(1羽ずつの折り鶴)の配布(合計450袋・6,000羽)



Message

折り鶴ウェーブへの想い

折り鶴ウェーブ提案者 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島 鈴木 明美 様

日本人らしく心を込めた「おもてなし」とは、どのような事でしょう。選手村が立地する中央区の子どもたち、在勤の方々、成人から高齢の方々までどなたにも取り組めて、日本の伝統文化を感じられ、オリンピックの精神である「世界平和」のメッセージを託せること……それは、日本の伝統文化「折り紙」でした。

折り紙を鶴の形に折って作る「折り鶴」は、米国のオバマ元大統領が広島を訪れた際、慰霊碑に捧げられ、世界の人々に平和の象徴として認識されています。

選手の方々や大会関係者の方々に折り鶴をお渡しし、自国で開いていただいた時、日本の伝統文化を通じて、平和への願いとおもてなしの心が伝わってほしい……小さな「さざなみ」である参加者一人一人の想いが重なって「ウェーブ」となり、世界に広がってほしい……想いが実りました。



イ 花のおもてなし

地元企業と連携し、選手村の入口付近に選手・大会関係者を歓迎する花のプランターを設置した。

期 間：令和3(2021)年7月13日(火)～9月8日(水)

場 所：選手村メインエントリー

内 容：合計4種類の花を植えたプランター 36基

協 力：株式会社江間忠ホールディングス(プランター制作・設置)

株式会社クリスタルジャパン(土入れ・花植え、造園資材提供、移設)

レガシー：使用したプランターは、大会後に以下の3カ所へ移設し、公園・児童遊園を彩る植栽として活用

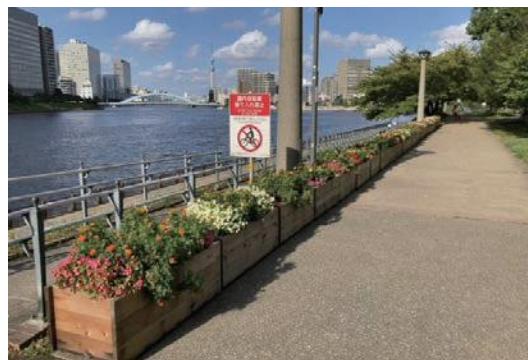
●石川島公園

●黎明橋公園

●左衛門橋南東児童遊園



▲大会期間中、選手村の入口付近に設置した花のプランター



▲大会後、石川島公園に移設した花のプランター

ウ 中央区でアサガオおもてなしプロジェクト

オフィシャルパートナーのアース製薬株式会社が、各国選手団へのおもてなしとして区立小学校の児童が育てたアサガオを選手村内に設置した。

期 間：令和3(2021)年6月30日(水)～9月8日(水)

場 所：選手村宿泊棟間の通路

内 容：区立小学校(全16校)の児童が育てたアサガオ 600鉢

主 催：アース製薬株式会社

レガシー：大会後はアサガオを各校に戻し、次年度以降の栽培に活用



▲選手村に設置したアサガオ



▲泰明小学校児童が選手村に設置したアサガオでリースを制作

エ 中央区観光協会との連携による地域の魅力発信

① ウェブサイトによる情報発信

a 大会特設ウェブサイト

大会時のおもてなしの取組や区の魅力を多言語で紹介する特設サイトを開設。期間中に39,125件のアクセスがあった。

期 間：令和3(2021)年5月6日(木)～
9月30日(木)

- 内 容：●折り鶴ウェブの紹介
●オンライン観光ツアー
(区の魅力を「歩」「遊」「食」の3つの動画で紹介、YouTube上で合計約38万回再生)
●区内団体によるメッセージ・パフォーマンス動画
(参加数：16団体、YouTube上で約22万回再生)



▲大会特設ウェブサイトトップページ

b 365 Central Tokyo

中央区の観光に関連するウェブサイトやSNSの情報を集約し、更新情報をTwitter上で発信するサイトを開設。9月30日までに2,197件のアクセスがあった。

期 間：令和3(2021)年5月6日(木)～

- 内 容：●観光情報公式サイト「Central Tokyo for Tourism」や中央区観光情報センター公式Facebook、中央区観光協会特派員ブログなどの情報を自動で集約して掲載
●更新情報は自動的に当サイトのTwitter (@365central_jp) で発信



▲365 Central Tokyoトップページ

c The Ultimate Guide to the HEART OF TOKYO

中央区を築地、銀座、日本橋・京橋、人形町、月島・晴海の5つのエリアに区分し、訪日外国人に訴求力のある観光スポットを英語で紹介するウェブサイトを開設。9月30日までに747件のアクセスがあった。

期 間：令和3(2021)年6月30日(水)～

- 内 容：●オリジナル株式会社のシティガイド「タイムアウト東京」の外国人編集チームが取材した50軒のおすすめ観光スポット
●当サイトの内容を冊子にしたガイドマップも作成し、大会のメインプレスセンター内に設置された臨時観光案内所など、大会関係者の来訪が見込める各所で10,300部を配布



▲ The Ultimate Guide to the HEART OF TOKYO冊子(左右)

② ウェブ広告の配信

IPアドレスや端末の言語設定などの情報を利用してYouTube上に選手・大会関係者や外国人を対象とした動画広告を掲載し、大会特設ウェブサイトへのアクセス誘導を図った。

期 間：令和3(2021)年8月3日(火)～9月5日(日)

- 内 容：●来日中の選手・大会関係者に向けて中央区のおもてなしをPR
 (区内団体によるメッセージ動画、804,959回表示)
 ●訪日できない外国人へ中央区の観光をPR
 (オンライン観光ツアー動画、1,047,368回表示)
 ※動画をクリックすると大会特設ウェブサイトへアクセス

③ 晴海三丁目交差点における屋外広告

選手村と各競技会場を結ぶ輸送ルート上となる晴海三丁目交差点に、選手・大会関係者に向けた屋外広告を掲出した。

期 間：令和3(2021)年7月9日(金)～9月9日(木)

場 所：中央区晴海三丁目2番地((仮称)晴海三丁目計画新築工事の仮囲い)

- 内 容：●選手・大会関係者への歓迎メッセージ
 ●大会特設ウェブサイトへ誘導する巨大二次元コード
 ●折り鶴ウェーブマーク・おもてなしロゴマーク



▲晴海三丁目交差点の屋外広告

【感染症拡大防止のため中止した事業】

- ① 中央区おもてなしセンター／コミュニティライブサイト
大会時の来街者などの区内回遊拠点となる「中央区おもてなしセンター」と、同場所において大会期間中、誰でも気軽に競技観戦を楽しめる「コミュニティライブサイト」の設置を計画していた。
期 間：令和3(2021)年7月20日(火)～9月5日(日)
会 場：銀座松竹スクエア1階プラザ
内 容：●多言語での観光案内
●観光情報や文化作品の展示
●区にゆかりのある文化芸術団体によるステージイベント
●大会パートナー企業によるブース出展
●東京2020大会競技の中継
●ボッチャの競技体験
- ② SNSタグ付けキャンペーン
大会時の来街者や区民によるSNS投稿を通じて、区の魅力や大会の盛り上がり共有し拡散するキャンペーンの実施を計画していた。
期 間：令和3(2021)年7月20日(火)～9月5日(日)
内 容：●「あなたのお気に入りを紹介しよう!」をテーマにInstagramへの指定タグ付き写真の投稿を募集
●中央区おもてなしセンターで投稿画面を提示すると参加賞を贈呈
- ③ フリーガイド
ボランティアガイドが参加者の要望に合わせて区内を案内するフリーガイドの実施を計画していた。
期 間：令和3(2021)年7月20日(火)～9月5日(日)
内 容：●中央区観光協会おもてなしスタッフが参加者の要望に合わせて多言語対応で区内を案内
●事前予約、当日申込のどちらも可能

オ おもてなしTシャツの作製・配布

本区が実施するおもてなしの取組や大会関連イベントなどに携わる区民などの一体感を高め、来街者へおもてなしの気持ちをアピールする視認性の高い共通アイテムとしてTシャツを作製し、配布した(本区のおもてなし事業に賛同する企業からの協賛も受けて作製)。

選手村周辺おもてなし清掃やオリンピック聖火リレーの公道走行が中止になるなど、Tシャツ配布対象事業の中止や縮小はあったが、地域団体の自主的な清掃活動やパトロール、学校活動の場などで活用された。

① 配布対象者

- おもてなし清掃参加者
- 区立小・中学校の全児童・生徒及び教員
- 聖火リレー、区のおもてなし事業、大会関係イベントなどに参加する区民
- 大会関係事業に従事する区職員 など

② 配布数

約17,400枚

③ デザインコンセプト

区の文化・歴史の流れと、区に関わりのある東京2020大会の競技(3×3バスケットボール、ボッチャ)のイラストなどを入れた元気なまちのイメージを線画で表現

※令和2(2020)年2月27日開催の第8回中央区オリンピック・パラリンピック区民協議会でデザイン決定

④ 色

青色、水色

⑤ 協賛企業(五十音順)

大日本印刷株式会社、三井不動産株式会社、株式会社 明治



▲おもてなしTシャツデザイン(上:青色 下:水色)

2 ボランティア

ア フィールドキャスト（大会ボランティア）

東京2020組織委員会は、大会関係施設での運営、案内、接遇、移動のサポートなど、大会運営を支えるボランティアを募集・運営し、大会の雰囲気醸成の一員として年代、性別、国籍、障害の有無などにかかわらず多様な人々が活動した。

運営：東京2020組織委員会

活動場所：競技会場、選手村などの大会関係施設

活動内容：競技運営やメディアサポートなど、大会運営を支える活動

活動期間：大会期間中及び大会期間前後

参加者数：70,970人（オリンピック51,672人、パラリンピック24,514人、延べ76,186人、両方で活動したボランティア5,216人）



▲選手らを見送るフィールドキャスト（Photo by Tokyo 2020 / Ryosei WATANABE）



▲メインプレスセンターで活動するフィールドキャスト（Photo by Tokyo 2020 / Erika SHIMAMOTO）

イ シティキャスト（都市ボランティア）

開催都市である東京都及び競技会場が所在する自治体は、競技会場周辺の主要駅や空港、観光地における観客や観光客への案内などを行うボランティアを募集し、選手・大会関係者や国内外からの旅行者・観光客等を迎える準備を進めた。

本区では、区民協議会ボランティア検討部会などを通じて原則区内で活動する参加希望者を募り、180人を東京都に推薦し、辞退者以外は全員が採用された。

令和3（2021）年7月にオリンピック、同年8月にパラリンピックの都内会場における無観客開催が決定したため、東京都では役割・活動場所を変更し、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず多様な人々が活動した。

運営：東京都及び競技会場が所在する自治体

※以降の内容は東京都におけるシティキャスト

活動内容：●募集当初の予定

空港・主要駅、観光地、競技会場の最寄駅周辺及びライブサイトにおける観客や観光客、来場者への案内・対応など



▲東京都メディアセンターで案内を行うシティキャスト（提供 東京都）

●無観客開催決定に伴う役割変更後

活動内容	活動場所
来場者案内、大会情報の提供 東京・地域の魅力を発信する公開収録	東京スポーツスクエア
選手等のお迎え、お見送り	羽田空港
メディア関係者の案内	東京都メディアセンター
来場者への声掛け、大会情報提供など	聖火台（江東区の夢の大橋）周辺など
東京都の特設サイト「みんなの東京2020応援チャンネル」収録・配信会場サポート	日比谷野外音楽堂 都庁
来場者案内、会場運営サポートなど	パラリンピックギャラリー銀座
パラ競技・パラアスリートの応援メッセージの作成	国立オリンピック記念青少年総合センター
パラリンピック集火式・点火セレモニーにおける来場者の案内、暑さ対策グッズの配布等	都庁周辺 代々木公園
学校連携観戦のため会場へ向かう児童・生徒の案内	競技会場周辺
来場者の案内、暑さ対策グッズの配布等	パラ競技体験施設周辺
観戦自粛の呼びかけ	パラリンピックマラソンコース 沿道付近
大会への応援メッセージや東京・地域の魅力の発信	オンライン上

活動期間：令和3(2021)年7月18日(日)～9月5日(日)

参加者数：11,913人(延べ20,676回活動)



▲パラリンピックギャラリー銀座での来場者案内(左右写真 提供 東京都)

ウ 外国人おもてなし語学ボランティア

東京都は、大会開催を見据え、外国人観光客などが安心して東京に滞在できる環境を整えるため、街中で困っている外国人を見かけた際などに積極的に声をかけ、道案内などの手助けを行うボランティアを区市町村などと連携して育成した。

本区では、中央区文化・国際交流振興協会が外国人おもてなし語学ボランティア育成講座を開催し、多くの区民の参加を集めた。詳細は190ページを参照。

エ 中央区観光協会おもてなしスタッフ

来街者が区内を安心・快適に観光・回遊できるよう、まち歩きツアーや観光案内所、イベントなどで案内や通訳などを行うボランティアとして、中央区観光協会が平成29(2017)年から募集・運営し、大会後も継続して活動している。詳細は186、187ページを参照。

3 安全・安心で清潔なまち

ア おもてなし清掃の実施

東京2020大会期間中に本区を訪れる選手・大会関係者・来街者を清潔で快適な環境で迎えるため、7月から9月までの各月1回、町会・自治会や事業所などによる身近な場所での自主的な清掃と、選手村周辺でのおもてなし清掃を企画した。希望者にはおもてなしTシャツを配布して清掃活動中の着用を呼びかけた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施は下記のとおりとなった。

① 町会・自治会や事業所などによる自主的な清掃

各団体会で実施の可否を判断し、実施する場合は感染症対策を徹底するよう促した。

② 選手村周辺でのおもてなし清掃

一般参加者の募集を行った清掃は中止としたが、平成25(2013)年度から選手村周辺で清掃活動を続けている中央区地域スポーツクラブ大江戸月島は、会員のみで感染症対策に十分配慮しながら実施した(7月のみ実施)。

<日程及び参加申込者数>

- 令和3(2021)年7月10日(土) 87人(中止)
- 令和3(2021)年8月7日(土) 106人(中止)
- 令和3(2021)年9月4日(土) 175人(中止)



▲選手村周辺を清掃する中央区地域スポーツクラブ大江戸月島の皆さん

イ おもてなし扇子の配布

東京2020大会期間中に本区を訪れる来街者に対して、檜原村産材で製作した木製扇子を配布することで、来街者に対する暑熱対策とするとともに、広く「中央区の森」事業の周知を図った。

① 配布場所

パラリンピックギャラリー銀座
観光情報センター、区施設など

② 配布数

10,000枚



▲檜原村産材で製作したおもてなし扇子

ウ 防犯団体による安全パトロール

東京2020大会の開催に伴い、地域の参加意識の醸成及び安全で安心なまちの維持のため、防犯協会が行うパトロールを支援した。

選手村のある月島地域の月島防犯協会13支部(町会)が延べ50回のパトロール活動を実施し、区は活動経費の補助を行った。

補助額：164,320円

4 選手・大会関係者からのメッセージ

ア 選手村村長、村長代行、副村長からのメッセージ

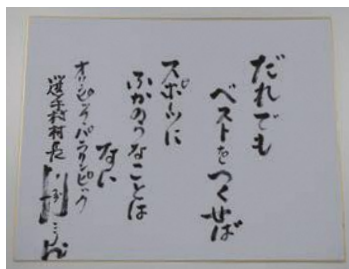
選手村の顔として、儀典関係の業務、参加選手・選手団、各国オリンピック・パラリンピック委員会関係者との交流・情報交換を行う選手村村長、村長代行、副村長が設置された。

選手村村長、村長代行、副村長より、東京2020大会のレガシーとして、選手村跡地に新設される予定の認定こども園及び晴海西小学校（仮称）・晴海西中学校（仮称）に将来通う子どもたちに向けたメッセージが贈られた。

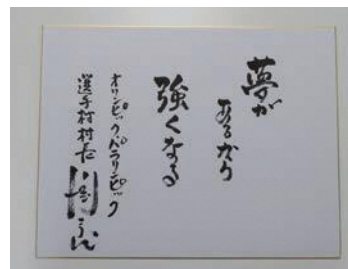
- オリンピック選手村：村長 川淵 三郎（日本サッカー協会相談役）
 村長代行 上村 春樹（講道館長）
 副村長 小谷 実可子（オリンピック）
 齋木 尚子（日本ラグビー協会理事）
 瀧澤 正光（日本競輪選手養成所所長）
 田口 亜希（日本パラリンピアンズ協会副会長）
 富山 英明（オリンピック）
- パラリンピック選手村：村長 川淵 三郎
 村長代行 上村 春樹
 副村長 大日方 邦子（日本パラリンピアンズ協会会長）
 齋木 尚子
 瀧澤 正光
 田口 亜希
 根木 慎志（日本パラリンピアンズ協会副会長）



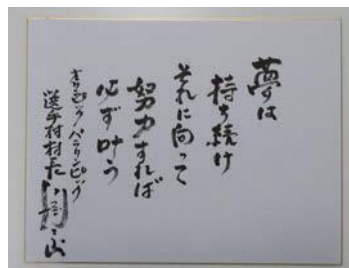
▲メッセージを掲げる川淵選手村村長



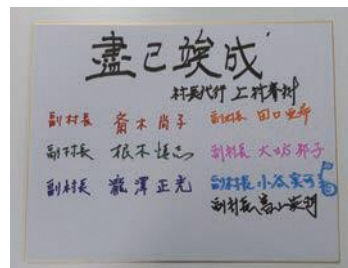
▲選手村村長からこども園園児へのメッセージ



▲選手村村長から小学校児童へのメッセージ



▲選手村村長から中学校生徒へのメッセージ



▲選手村村長代行、副村長からのメッセージ

イ 三浦浩選手（パワーリフティング）からのメッセージ

本区の学校観戦を予定していた東京2020パラリンピックパワーリフティング（49キログラム級）に出場した三浦浩選手より、区内全小・中学校の児童・生徒に向けたメッセージが贈られた。



▲区内全小中学校に贈られた三浦選手からのメッセージ



©Tokyo 2020

5 大会開催に係る区民等からの意見・要望等

東京2020大会が開催されるにあたり、区民・在勤者等から交通規制や大会関係者の行動、新型コロナウイルス感染症への不安等に関する意見・要望等が寄せられた。本区では、こうした声に対し、意見等提出者へ各事業の説明等を行うとともに、東京2020組織委員会へ情報提供・是正要求などを行った。

オリンピック期間においては意見・要望等が多数あったものの、パラリンピック期間においては東京2020組織委員会が課題を踏まえ、対応の強化を図ったことなどから、件数は減少した。

●集計期間

令和3(2021)年6月23日(水)～令和3(2021)年9月8日(水)

※環状第2号線交通規制開始からパラリンピック選手村閉村まで

●意見・要望等の件数

区長への手紙、電話、窓口、メール 計62件

●意見・要望等の内容

区分	件数	主な内容
交通問題（規制、混雑、ルール違反、騒音等）	16	<ul style="list-style-type: none"> ・規制により遠回りとなる不便が生じた ・大会車両が交通違反している ・大会車両が設定ルートを守らない
大会関係者の行動	14	<ul style="list-style-type: none"> ・大会関係者が街中を歩いている ・選手村周辺スーパー等で酒類を買っている
感染の不安	6	<ul style="list-style-type: none"> ・選手村の管理体制・感染対策が不安 ・街中で外国人と会うのが不安
ボランティアのマナー	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黎明橋公園に集まっている ・通勤ルートやマナーが守られていない
開催反対	4	<ul style="list-style-type: none"> ・大会開催は感染拡大や医療崩壊を招くので中止に
メディア用バス停	4	<ul style="list-style-type: none"> ・明石町のバス停は、ワクチン接種会場前にもかかわらず設置したのか ・ボランティアが常盤小学校敷地で休憩している
ブラジルオリンピック委員会拠点	3	<ul style="list-style-type: none"> ・豊海緑道に関係車両が駐車している ・公園利用者と選手が接触しない対策を
おもてなしTシャツ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校から配布されたがサイズが合わない ・ネット上の出品を停止すべき
その他	13	<ul style="list-style-type: none"> ・選手村周辺で選手待ちが発生 ・学校の交通安全メールが適切でない ・海外選手団の政治的行動を中止に ・大会の区民への影響や、選手村の陽性者情報をもっと公表すべき ・大会関係者の喫煙ルールの徹底を ・おもてなし清掃を中止に ・聖火セレモニーはなぜ非公開か ・大会用駐車場の照明がまぶしい ・東京2020組織委員会コールセンターが繋がらない

※一人の意見に複数カウントしているものがあるため、意見・要望の件数とは一致しない。